

千波湖環境学習会レポート！

令和6年6月9日（日）

テーマ 外来種を調べよう

みなさん、こんにちは！今年度4回目、6月9日午後の部の千波湖環境学習会のテーマは「外来種を調べよう」です！「外来種」とは、もともと日本に生息していなかった外国から入ってきた生物のことです。

千波湖には、どんな種類の外来種が生息しているのでしょうか？みんなで調べていきましょう！

まずは、外来種について、千波湖の生き物が書かれた下敷きを使って勉強です。千波湖にいる代表的な外来種は「アメリカナマズ」！アメリカナマズは、みんな大好きマクドナルドのフィレオフィッシュバーガーの材料として輸入されたのがはじまりとのこと。みんな勉強になりましたね！

勉強が終わったところで、外来種を捕まえるワナを引き上げます！やはり出ましたアメリカナマズ！50センチほどのサイズが3匹も捕まりました。みんなその大きさにびっくり！アメリカナマズはひげにトゲがあるので、気をつけないといけないそうです。



カメやカニが大漁です



子どもたちも興味津々！

ほかにも、スッポンやモズガニ、タモロコなど、外来種以外のもことから生息している生き物「在来種」も捕まりました。そして、今日一番の大物が「ニホンウナギ」です。ニホンウナギは、絶滅危惧種でとても珍しいとのこと。



ニホンウナギ！
(貴重なため、千波湖にかえしました)

今日は、たくさんの外来種や在来種を捕まえることができました。もともといなかった生き物が千波湖に住みつき、悪い影響がでているとのこと。

絶滅危惧種になっているニホンウナギなどを守るためにも、みんなで協力して、千波湖の自然を守っていきましょう。

僕も、食べるとおいしいよ。



アメリカナマズ君